

町のシンボル 頂上目指して 東根山登山



頂上(三角点)に到着!みんなで楽しく登りました

今年で34回目となる水分公民館主催の東根山登山が6月3日に行われ、小学1年生から70代まで84人が参加しました。ラ・フランス温泉館の駐車場で山開き行事と登山安全祈願を行った後、5つのグループに分かれて標高928.4mの山頂へ向けて出発。前日の降雨でぬかるんだ道もありましたが、参加者は、所々に咲いている花々や眼下に広がる町の景色を見ながら頂上に到達しました。山形県から参加した小学5年生の小関百合さんは「東根山に登るのは4回目です。登っている最中はつらいですが、頂上に着くとすっきりとした達成感があります」と登山の魅力を話し、彦部小3年の石川由花さんは「山頂は寒かったけど、景色がとてもきれいでした」と初めての東根山登山を楽しんでいました。



町の景色を眺めながらお昼ごはん



山頂で食べるとおいしいね



マイズルソウ



ラショウモンシカヅラ



キラッと★ちゃ・ちゃ・ちゃんねる



このコーナーでは毎月、町の子育て支援情報など、「子ども」に関する情報をお伝えしています。
今月は、紫波町子どもセンター内の適応支援教室「はばたき」について紹介します。

Q. 「はばたき」ってどんなところ?

さまざまな理由で学校に行くことができない小・中学生に対して、適切な指導や支援を行い、在籍校への復帰を応援する教室です。

【開室時間】月～金曜日 午前9時～午後3時

Q. どんなことをしているの?

基礎学習や自主学習のほか、体育や調理実習、さまざまな体験学習などに、学年を問わずみんなで取り組んでいます。

Q. 通うためにはどうしたらいいの?

見学や体験入級の申し込みなどは随時子どもセンターで受け付けています。入級を希望する場合には、各在籍校にご相談ください。

〈畠山センター長からのメッセージ〉

「はばたき」に来る子どもたちは、人間関係のトラブルなど、いろいろなストレスを抱えてやってきます。そんな子どもたちに少しでも元気になってもらうため、毎日の学習の中に、体を動かし体力をつける「体育」を取り入れています。また、子どもたちが多様な体験をする中で、自分の良さを発見し、次の目標に向かっていくための力を伸ばすことを大切に教室運営を行っています。



畠山秀一郎センター長

「はばたき」を含め、紫波町子どもセンターでは、さまざまな子どもの発達課題や保護者の子育ての悩みなどに対し、町や外部機関とのネットワークを最大限に生かして支援を行っていききたいと思います。

【担当・問合せ】 子育て課 子ども室 ☎672-2111 内線3190 / 紫波町子どもセンター ☎613-6691